

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	○思いや意向の把握 1人ひとり個別に思いや希望をの把握に努めてはいるが職員により対応の仕方が違い統一できていない事がある。	本人様、家族様からも話を伺い本人にとっての暮らし良いサービス、支援を行う。	入居時は家族様や本人様の思いや希望などを聞き把握できているが入居後、状態や環境の変化に伴い出来ること、出来ない事、やってみたいこと等が変わってくるので家族様や本人様との話の中で新しい情報を「入居前調査票」に追記し他職員が見ても分かりやすいようにしていく。	12ヶ月
2	40	○食事を楽しむことの出来る支援 その方の嗜好品を把握し食べる事の楽しみが出来るようにする。	職員と一緒に買い物をし自分の食べたい物を購入して頂く。	週2回来ている移動スーパー(とくし丸)を利用して自身で好きなものを選んで頂き、支払いし買っ物を体験して頂く。	12ヶ月
3	27	○個別の記録と実践への反映 日々の介護記録の内容に入居者様の言葉、反応があまり記録されていない。	普段の生活の中での入居者様の言葉をしっかりと聞く。	行事やレクリエーション、普段の生活で入居者様の反応、言葉を記録をしていく。	12ヶ月
4	36	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 その方の状況に応じた言葉かけ、対応が出来ていない。	入居者様のの状況に応じた言葉かけ、対応を職員全員が出来るようになる。	「認知症」についての理解、入居者様の気持ちを汲み取り、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけを心がけ不適切な声掛けを注意し合えるような環境を作る。	12ヶ月
5	7	○虐待防止の徹底・身体拘束をしないケアの実践 高齢者虐待防止と共に身体拘束の禁止については、年に2回施設内研修をしているが、振り返りが出来ない。	施設内で不適切ケアについて話し合える機会を定期的にする。	施設内で行動制限に繋がる事例について振り返りグループホーム会議で話し合う。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。